

患者向医薬品ガイド

2023 年 5 月作成

トレプロスト吸入液 1. 74mg

【この薬は？】

販売名	トレプロスト吸入液 1. 74mg TREPPOST Inhalation Solution 1. 74mg
一般名	トレプロスチニル Treprostnil
含有量 (1 アンプル中)	トレプロスチニル 1. 74mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、プロスタグランジン I₂誘導体と呼ばれるグループに属する吸入薬です。
- ・この薬は、肺の血管を拡張することにより肺動脈の血圧を下げ、血液を流れやすくします。また、同時に肺の血管内で血液が固まりにくくすることにより、血管が詰まらないようにします。
- ・次の病気の人に処方されます。

肺動脈性肺高血圧症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にトレプロスト吸入液に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・肺静脈閉塞性疾患のある人
 - ・高度に肺の血管抵抗が上昇している人
 - ・出血しやすい人
 - ・低血圧の人
 - ・肝臓に障害がある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は専用のネブライザ（TD-300/Jネブライザ）を用いて吸入します。
決して飲んだり、注射したりしないでください。

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の使用量および回数は、次のとおりです。

	開始量	最高用量
1回量	3吸入 (18 μ g)	9吸入 (54 μ g)
吸入回数	1日4回	
吸入間隔	少なくとも4時間以上あけること	

1回3吸入から使用を開始し、問題がなければ7日以上の間隔をあけて1回3吸入ずつ増量されます。あなたの状態によっては、増量幅を1回1または2吸入とされたり、1回量を1吸入まで減量されることもあります。

肝臓に障害がある人は、重症度に応じて1回1または2吸入から使用を開始し、慎重に増量されます。

●どのように使用するか？

- ・この薬の吸入には、TD-300/Jネブライザを使用します。使用方法について十分理解できるまで医師や薬剤師より説明を受けてください。
- ・巻末の「TD-300/Jネブライザを用いたトレプロストの吸入方法」を読んでから使用してください。また、ネブライザに添付の取扱説明書も参照してください。不明な場合は、医師や薬剤師に相談してください。
- ・この薬の変色またはアンプル内に微粒子が認められるものは使用しないでください。
- ・1アンプル全量をネブライザに移し、1日の吸入が終了したらネブライザ内に残った液は捨ててください。
- ・この薬を希釈したり、ほかの薬を混ぜたりしないでください。

- ・薬液が皮膚に付着したり、眼に入らないように気をつけてください。
- ・部屋の換気を十分に行いながら吸入してください。
- ・この薬を飲み込まないでください。
- ・アルミ袋を開封後、7日以内に使用してください。

●吸入し忘れた場合の対応

- ・決して2回分を一度に吸入しないでください。
- ・気が付いたらすぐに1回分を吸入してください。ただし次の吸入まで4時間以上はあけてください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

潮紅、頭痛、低血圧、悪心、嘔吐（おうと）、下痢などがあらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・血小板減少、好中球減少があらわれることがあるので、定期的に臨床検査などが行われます。
- ・甲状腺機能亢進症があらわれることがあるので、甲状腺機能検査が行われることがあります。
- ・この薬の使用で、めまいなどがあらわれることがあるので、高い所で作業を行ったり、自動車の運転など危険を伴う機械を操作したりする際には、十分注意してください。
- ・息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れなど気管支痙攣の症状があらわれた場合は、ただちに医師または薬剤師に相談してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血圧低下 けつあつていか	脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、意識の消失
失神 しっしん	短時間、意識を失い倒れる
出血 しゅっけつ	〔消化管出血〕 しょうかかんしゅっけつ 吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、腹痛、便に血が混じる、黒い便が出る 〔鼻出血〕 びしゅっけつ 鼻血
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
好中球減少 こうちゅうきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
甲状腺機能亢進症 こうじょうせんきのうこうしんしょう	動悸（どうき）、脈が速くなる、手指のふるえ、体重減少、汗をかきやすい、イライラする、微熱

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	脱力感、ふらつき、出血が止まりにくい、突然の高熱、寒気、体重減少、汗をかきやすい、微熱
頭部	めまい、立ちくらみ、意識の消失、イライラする、短時間、意識を失い倒れる
顔面	鼻血
口や喉	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、歯ぐきの出血、喉の痛み
胸部	動悸
腹部	腹痛
手・足	脈が速くなる、手指のふるえ
皮膚	あおあざができる
便	便に血が混じる、黒い便が出る

【この薬の形は？】

性状	無色澄明の吸入液剤		
容器	アンプル		
容器の形状			

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	トレプロスチニル
添加剤	塩化ナトリウム、クエン酸ナトリウム水和物、水酸化ナトリウム、pH調節剤

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・アルミ袋開封後、未使用のアンプルはアルミ袋に入れ、光を避けて保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：持田製薬株式会社 (<https://www.mochida.co.jp/>)

くすり相談窓口

電話：0120-189-722

受付時間：9：00～17：40
（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）

TD-300／J ネブライザを用いたトレプロストの吸入方法

この薬剤は、専用の吸入器（TD-300／Jネブライザ）を用いて、薬液を霧状にしたものを吸入します。吸入操作の回数は1日4回です。詳しくは次ページ以降をご参照ください。



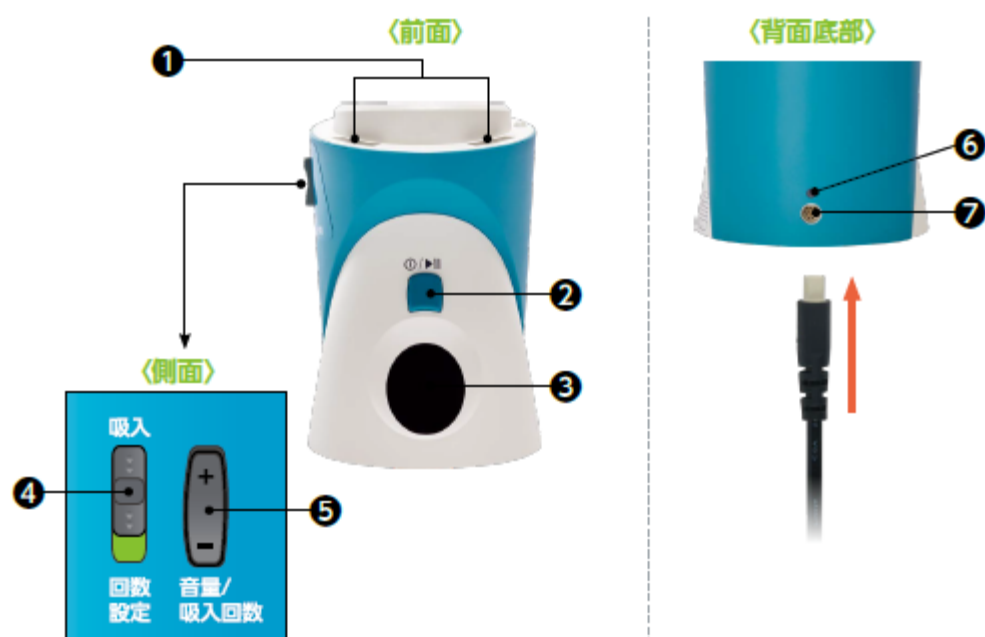
製品改良等のため、予告なく外觀または仕様の一部を変更することがあります

吸入にあたって使用するもの

1 各部の名称



吸入器本体の部位とはたらき



前面部

① 吸入指示ライト (2カ所)	ライトが緑色に点灯するときが、吸入するタイミングです。
② メインボタン (ON / OFFボタン)	約5秒間長押しすると電源が入ります。電源を切るときも、約5秒間長押しします。 吸入を開始するときや、一時休止するときはこのボタンを短く押します。
③ 表示画面 (ディスプレイ)	残り吸入数を数字で表示します。 吸入を休止／終了したときや、エラーなど、本体の状態も表示されます。

側面部

④ 切替スイッチ	吸入と回数設定を切り替えるスイッチです。上にスライドすると吸入、下にスライドすると回数設定ができます。
⑤ 音量／吸入回数 変更ボタン	吸入指示音の音量調節と、吸入数を設定します。

背面底部

⑥ 電源ライト	本体とACアダプタ、コンセントが正しく接続されると充電がはじまり、緑色に点灯します。
⑦ 電源口	ACアダプタと接続して本体を充電します。

2 吸入セットを受け取ったら

まず、本体と付属品一式がそろっていることを確認してください。吸入セットは、計量カップを除き予備を含めて2セット渡されます。

トレプロスト吸入セット一式



● 吸入器本体	1台	● 霧化セット	1個	● 薬液入れ	1個
● ACアダプタ	1個	● 吸入管	1個	● フィルター	2枚
		● フィルター入れ	2組	● 計量カップ	1個
		● 吸い口	1個		
		● 栓	2個		

3 本体と電源

● 吸入器本体



● ACアダプタ

吸入器本体の充電に使用します。



4 付属品 (消耗品キット)

ひびや割れがある場合は、予備のものと交換してください。

■ 4週間ごと (28日) に交換して使用するもの

● 霧化セット

霧化される薬液の量を調節する部品です。
分解はしないでください。
1日の吸入の合間には、付属の栓を霧化セットに差し込みます。



● 吸入管 (吸入ピース)

霧化セットに取り付けます。



● フィルター入れ (フィルターシェル) (2組)

1日ごとに、付属のフィルターを1枚入れたものを2組用意し、霧化セットと吸入管に取り付けます。



● 吸い口 (マウスピース)

吸入管に取り付けて、吸入するときに口にくわえます。



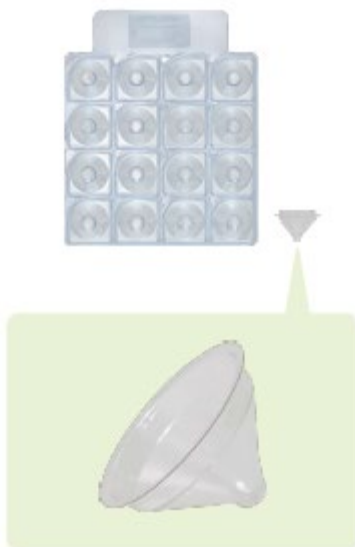
● 栓 (プラグ)

2個ずつ使用します。吸入が終わったら霧化セット2カ所に差し込んでおきます。



■ 毎日交換して使用するもの

- **薬液入れ (薬液カップ)**
1日につき1個を使用します。



- **フィルター (メンブレンフィルタ)**
フィルター入れに1枚ずつ入れて使用します。
1日につき2枚使用します。



■ その他に用意するもの

- **計量カップ**
本体に蒸留水を入れるための
カップです。



- **蒸留水**

吸入器の使い方

1 吸入前に充電をしておきます

あらかじめ、付属のACアダプタを用いて本体を充電します。

本体とACアダプタを接続し、ACアダプタをコンセントに差し込むと充電が始まります。正しく接続されているときは、背面の電源ライトは緑色に点灯します。電源ライトはフル充電後も点灯したままですが、新品時は約8時間でフル充電されますので、充電が終わったらACアダプタを本体から抜いてください。

【注意】

- 作業を行う前に、必ず石けんで手を洗ってください。
 - 安定した平らな場所で組み立ててください。
 - 充電中でも吸入はできますが、組み立てる際はACアダプタと接続しないでください。
- ※充電は毎日行ってください。

2 吸入器に蒸留水を入れます

1 適正量の蒸留水を計量カップにはかり取ります。



- 水面がカップの矢印の間の目盛に合うように蒸留水をはかり取ります。(約45ミリリットル)
- 水道水やミネラルウォーター等を使用しないでください。吸入器が正常に作動しないことがあります。
- 吸入器は常温 (15℃～25℃) で作動するため、蒸留水は常温 (15℃～25℃) のものを使用してください。
- 蒸留水は飲用ではありませんので、飲まないようにしてください。

2 計量した蒸留水を吸入器本体に すべて注ぎます。



- 計量カップの蒸留水全量を吸入器本体の作用槽に入れます。
- 適正な水量の場合、水面の高さは上の水位センサー（銀色）よりも上で、青リングの幅の中ほどになります。



3 薬液入れに薬液を入れます

1 薬液入れを1個用意します。



- 薬液入れ1個を用意し、穴、ひび、へこみなどの異常がないか確認します。異常がある場合は、別の薬液入れに変えてください。
- 複数の薬液入れが重なっていないか確認してください。薬液入れが重なっていると組み立てることができません。



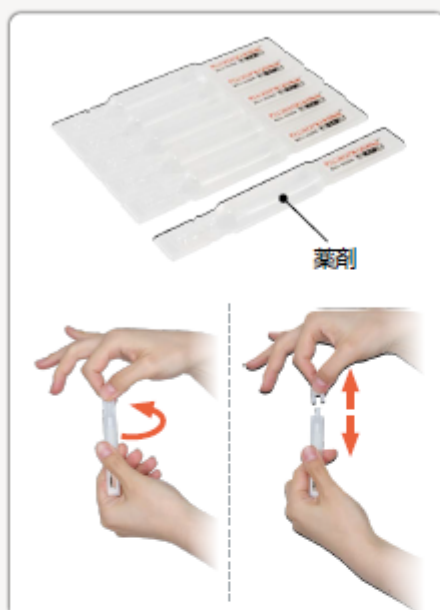
異常な薬液入れの例
(先端部分がへこんでいます)

2 吸入器本体に薬液入れを取り付けます。



- 薬液入れを吸入器本体に取り付けます。正しくセットされると薬液入れの先が蒸留水に浸ります。

3 薬液入れに薬液を入れます。



- 薬剤をアルミ袋から取り出し、使用する1個の薬剤を切り離します。残りの薬剤は、アルミ袋に戻して保管します。
- 取り出した薬剤の上部をつまみ、ねじって開封します。

【注意】

薬液が手についた場合は、すぐに手を洗ってください。炎症を起こすことがあります。



- 薬剤の容器内の薬液をすべて、薬液入れの中心に入れます。

【注意】

薬液入れの外に薬液がこぼれないよう注意してください。

4 吸入器本体と付属品を組み立てます

1 霧化セットに異常がないか確認します。



- ひびや割れ、プレートやパッキンの欠けがあった場合は予備のものと交換してください。

【注意】
霧化セットは分解しないでください。

2 吸入器本体に霧化セットを取り付けます。



- 霧化セットと吸入器本体にある突起部の位置を合わせて組み合わせ、霧化セットを時計回り（右回り）に回し本体に取り付けます。
- 本体と霧化セットが正しく取り付けられると、「カチッ」と音がして、本体内の薬液入れが霧化セットにはめ込まれます。その後、回らなくなるまで霧化セットを回し、しっかりと固定してください。

正しく取り付けられた場合



- 正しく取り付けられた場合は、フィルター入れ接続側は本体の背面を向きます。

【注意】

霧化セットと吸入器本体を取り付けるときに音がしない場合は、複数の薬液入れが重なっている可能性がありますので、確認してください。

誤った例



3 フィルター入れ2組それぞれにフィルターをセットします。



- フィルター入れの上下を時計と逆向き(左回り)に回して離します。中にフィルター1枚を入れ、時計回り(右回り)に回して固定します。
- 同じものを2組作ります。

【注意】

フィルター入れを初めて開封したときには、中にフィルターが入っていますが、それは使用せずに、新しいフィルターと交換してください。

4 吸入パーツを準備します。



- 吸入管に吸い口と③で作ったフィルター入れ1組をはめ込み、吸入パーツを組み立てます。

【注意】

フィルター入れをはめ込む方向に注意してください。逆向きだとはめ込めません。吸い口やフィルター入れは無理に押し込まないようにしてください。

5 吸入器本体に組み立てた吸入パーツを取り付けます。



- 組み立てた吸入パーツを霧化セットにはめ込みます。

【注意】

吸入パーツは無理に押し込まないようにしてください。

6 吸入器本体にフィルター入れを取り付けます。



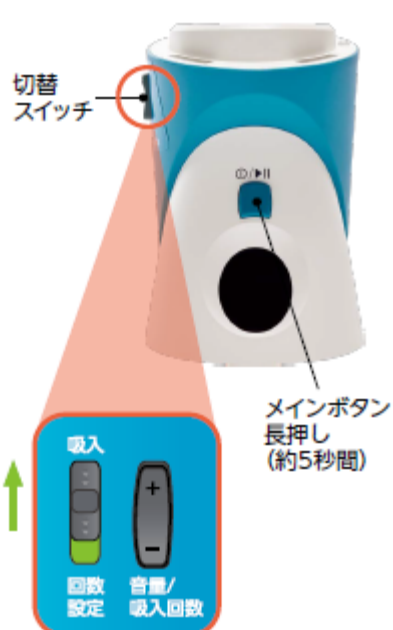
- ③で作ったフィルター入れ1組を、矢印の方向で吸入器本体にはめ込みます。

【注意】

フィルター入れをはめ込む方向に注意してください。逆向きだとはめ込めません。
フィルター入れは無理に押し込まないようにしてください。

吸入の方法

1 本体の電源を入れます



- 本体側面の切替スイッチを“吸入”側に上げ、メインボタンを約5秒間長押しします。

【注意】

本体側面の切替スイッチは、“吸入”側に上げてから、メインボタンを長押ししてください。切替スイッチを“回数設定”側に下げていると、吸入操作ができません。

吸入数を設定する場合は、36ページの手順に従ってください。

2 表示画面を確認します

電源が入ると「ピッ」と音がして、表示画面には「本機器のプログラム」、「前回の吸入からの経過時間」、「残りの吸入数」画面が順に表示されます。

表示画面の表示

本機器のプログラム	前回の吸入からの経過時間 (例)	残りの吸入数 (例：1回あたり3吸入と設定した場合)	
			

電池残量が少ない時には充電を行ってください。電源が正常に入らず、表示画面に「充電」が表示された場合や、表示画面に何も表示されない場合も追加の充電が必要です。

	電池残量がほとんどない状態		電池残量がない状態 (表示なし)
--	---------------	--	------------------

確認項目

以下について確認してください。

- **前回からの経過時間**
吸入間隔は約4時間あげてください
- **残りの吸入数**
設定した吸入数と同じ吸入数が表示されていることを確認します
- **電池残量**
「残りの吸入数」の画面の下に表示で確認します

3 吸入を開始します

【注意】

- 指示の音が聞こえるように、静かな場所で操作するようにしてください。
- 背筋を伸ばして座り、深く息を吸い込むことができるような姿勢をとって、吸入器を胸のあたりまで持ち上げて吸入してください。
- やむを得ない場合は、途中で吸入を中断することもできますが、落ち着いた環境で吸入を再開するようにしてください。

吸入前の準備

吸入を開始する前に、姿勢を整えましょう。

背筋を伸ばして座り、深く息を吸い込むことができるような姿勢をとり、吸入器を胸のあたりまで持ち上げます。

吸入のタイミングは、「ピーー、ピッ」の音の後に緑色の吸入指示ライトの点滅でお知らせします。

吸入器本体の吸入指示ライトや表示画面が良く見えるように、吸入器を持ってください。

ライトや表示画面が見にくい場合は、見やすいように吸入パーツをずらしてもかまいません。

準備が整ったら、吸入を始めます。
以下の①～⑥の手順で吸入してください。

標準的な姿勢



1 メインボタンを押します。



- 電源が入った状態でメインボタンを短く押します。



エラー表示

【注意】

蒸留水の量が少ないと、表示画面に「給水」のエラー表示が出ますので、メインボタンを約5秒間長押しして、電源を切ってから、本体の作用槽の中を確認してください。

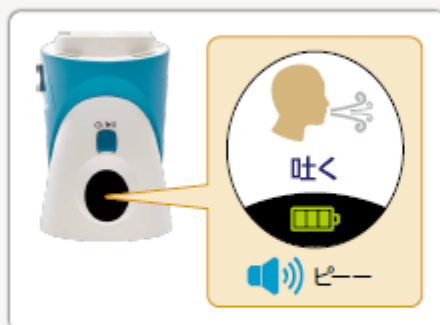
蒸留水の量の確認方法は、21ページをご参照ください。

2 吸い口をくわえずに待ちます。



- 「ピッピッ」という音が鳴ります。
- 吸い口をくわえずに、通常の呼吸をしながら指示を待ってください。息を止めている必要はありません。

3 息を吐き切ります。



- 「ピー」という音が鳴り続けます。
- この間に息を吐き切ってください。

4 吸い口をくわえて吸入します。



- 「ピッ」という音が鳴ったら、しっかりと吸い口をくわえ、緑色の指示ライトが5回点滅している間に深呼吸をするように深く息を吸い込んでください。

くわえ方のポイント

- 口の中の壁にあてるのではなく、のどの奥へと流れるようにするため、吸い口の平らな部分を覆うようにくわえ、吸入器の位置やくわえる角度を調整します。
- 吸い口は隙間なくくわえるようにします。



5 設定した吸入数を繰り返します。



- 設定した吸入数分だけ②待つ
③息を吐き切る④吸入する、の
手順を繰り返します。1回吸入する
ごとに表示画面の「残り吸入数」
の数字が減ります。
- 吸入指示ライトは約5秒間点滅し
ますので、あわてて吸い口をくわえ
たり息を吸い込んだりする必要は
ありません。
- 吸入後は吸い口から口を離し、
息を止めたりせず、通常どおりに
呼吸しながら次の吸入に備えて
ください。



途中で吸入を休止する場合

- 途中で吸入を休止する場合は、
メインボタンを短く押します。
- 休止中は表示画面に「一時停止」
と表示されます。
- 吸入を再開する場合は、メイン
ボタンを短く押します。

6 吸入が終わりました。



- すべての吸入が終わると、表示画面に「完了」と表示されます。
- 吸入器本体のメインボタンを長押し（約5秒間）して、電源を切ります。なお、「完了」が表示されてから60秒以上経過すると、電源が自動的に切れます。

- トラブル等により適切に吸入が行えなかった場合は、主治医に相談しましょう。
- 1日のうち1～3回目の吸入の場合は、薬液や蒸留水を捨てないでください。4回目の吸入の後に、39ページの「6. 吸入器の保管方法、お手入れ方法 ② 吸入器のお手入れと保管」を参考に、残った薬液や蒸留水の処理をしてください。

吸入数を設定する場合



- 本体の電源が付いている状態で、本体側面の切替スイッチを“回数設定”側に下げます。



- 吸入数を増やす場合は、「+」を、減らす場合は、「-」を押します。吸入数は1回～12回まで変更できます。

【注意】

医師から指示された吸入数を設定してください。トレプロスト吸入液による肺動脈性肺高血圧症の治療では、1回あたりの最大吸入数は9吸入です。

- 吸入数を設定したら、切替スイッチを“吸入”側に戻します。

吸入器の保管方法、お手入れ方法

吸入が終わったら、吸入器の保管とお手入れをしましょう。

【注意】

電子レンジや磁気共鳴画像診断 (MRI) 装置などの強い磁場のある場所に吸入器を置かないでください。

1 吸入器の保管方法



1回目の吸入～3回目の吸入後の場合は、吸入パーツとフィルター入れを取り外して保管します。



1

吸入器本体から、吸入パーツとフィルター入れを取り外します。



- 吸入器を平らな場所におき、吸入パーツとフィルター入れを取り外します。
- 吸入管から吸い口とフィルター入れを取り外します。

2 吸入パーツとフィルター入れを外した 2ヵ所に付属の栓を差し込みます。



- 吸入パーツとフィルター入れを外した2ヵ所に栓をしっかり差し込み、次の吸入時間まで保管します。

【注意】

薬液が入っている吸入器は光を避けて、薬液がこぼれないように平らな場所で、温度1～30℃で保管してください



- 持ち運ぶ場合は、専用の持ち運びケース（キャリーケース）にしまって持ち運んでください。
- 吸入器を倒すと薬液が漏れる可能性がありますので、持ち運びケースは立てたまま保管してください。

【注意】

持ち運びケースを倒してしまった場合、薬液が漏れていなければそのまま使用できますが、薬液が漏れてしまった場合は、薬液と薬液入れを新しいものと交換してください。漏れた薬液には直接触れないよう注意してください。薬液が皮膚に付いた場合は、速やかに水で洗い流してください。その後、異常がみられた場合には医師に相談してください。

2 吸入器のお手入れと保管



1日使用した後（4回目の吸入後）の吸入器は、以下の手順に従いお手入れし、保管してください。



1 付属品を取り外します。



- 「次の吸入までの保管方法」と同じ手順で、それぞれの部品を取り外します。吸入パーツも分解してください。
- フィルター入れは、上下を反時計回り（左回り）に回して分離し、フィルターを取り出してください。
- 取り出したフィルターは自治体の指示に従って廃棄してください。

【注意】

フィルターは1枚につき1日の使用とし、再使用しないでください。

2 霧化セットと薬液入れを取り外します。



- 霧化セットは反時計回りに回して、本体から外してください。薬液入れと霧化セットは装着された状態で外れます。
- 薬液入れは、両側からつまむようにして霧化セットから取り外します。
- 薬液が入ったままの状態、あらかじめティッシュペーパーを入れた袋に入れ、袋の口をしっかりと閉じ、自治体の指示に従って廃棄してください。

【注意】

1日使用した薬液入れと残った薬液は、再使用しないでください。薬液入れを外すときに薬液が手に付着しないように注意してください。薬液が皮膚に付いた場合は、速やかに水で洗い流してください。その後、異常がみられた場合には医師に相談してください。また、霧化セットにも薬液が付着している可能性があるため、十分に注意してください。

3 吸入器本体と付属品を洗浄します。



吸入器本体（作用槽）

- 吸入器本体に入った蒸留水を捨て、逆さにして自然乾燥させてください。
- 本体外側が汚れた場合は、水で湿らせて軽く絞った布で拭いてください。

【注意】

オープンレンジやドライヤー、食器洗浄機などを用いて乾燥させないでください。



付属品

- 付属品は翌日以降も4週間（28日）使用しますので、間違えて廃棄しないように注意してください。
- 付属品は1日使用したごとに食器用洗剤などで手洗いし、よくすすいでから自然乾燥させます。

【注意】

洗浄・乾燥に、食器洗浄機やオープンレンジ、ドライヤーなどは使用しないでください。

4 充電します。

- 19ページの方法に従って充電しておきましょう。

3 週1度のお手入れ

週に1度、吸入器本体のお手入れをしてください。



吸入器内部

- 乾いた清潔な布で吸入器内部を拭いてください。2カ所の水位センサーと白い振動子^{しんどうし}は必ず拭いてください。



吸入器外部

- 湿らせた布で拭いてください。

4 付属品の交換

以下の付属品は、4週間ごと（28日）に交換する必要があります。



- 使用し、4週間（28日）経過した付属品等は、自治体の指示に従って廃棄してください。

【注意】
使用済みの付属品は再使用しないでください。

5 廃棄方法

吸入に使用する付属品等は、自治体の指示に従って廃棄してください。